



高度専門人材の活用がDX成功の鍵

多様化する経営課題を解決できる専門人材が企業で必要とされる中、知識やノウハウを持つ人材採用にかかる膨大なコストや時間は、経営者を悩ます課題だ。総合人材サービス、パーソルグループのパーソルキャリア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：峯尾太郎）では、元上場企業役員や本部長クラス、海外現地法人の責任者などが企業の現場に入り、課題解決や事業成長を支援する「i-common（アイコモン）」サービスを提供。導入企業の塗料メーカー、(株)アステックペイントジャパン（糟屋郡志免町、菅原徹社長）では塗装業界のプラットフォームに成長するため、同サービスを活用している。同社でプラットフォームプロジェクトの統括責任者を任される猪口正弘企画開発部次長と、顧問としてアプリ開発に携わる山田大典(株)Michele 社長に、橋本裕樹 i-common 福岡責任者が導入の経緯や、DXを進める企業の課題やメリットについて聞いた。

（構成・ふくおか経済企画開発部）



猪口正弘 (株)アステックペイントジャパン 企画開発部次長
いのくちまさひろ／福岡市出身。1980年5月22日生まれ39歳。福岡大学商学部商学科卒。九州大学大学院STI政策専修コース修了。WEB制作会社を経て2010年(株)アステックペイントジャパン入社

橋本（以下）「i-common（アイコモン）」を導入した経緯をお聞かせします。

猪口 塗料メーカーの当社は、塗装店と加盟店契約を結び直接受注する「直販体制」を取っています。そのため、営業マンが経営者や社員と情報交換する機会が多く、業界の生産性向上に関する課題を聞くことが多々ありました。そこで、情報システム部門の関連会社(株)SP&Sを中心に業務改善のスマートフォンアプリの開発を進めていて、それに関する知見を持った人材を探していました。その中で、山田顧問は、人とコンピュータが情報交換するための接点「ユーザーインターフェース（UI）」の改善などに詳しいと聞き、途中から開発に参画していただきました。

—山田社長にお聞かせします。33歳と若くして顧問登録をされていますが、きっかけは。

山田 大学卒業後、コンサル会社に入社し、その後、日米のベンチャーでBtoB、BtoCのアプリやプラットフォームなどを開発してきました。アンケートなどで数値化できるデータを収集する定量調査や、インタビューなどで質的データを集める定性調査の分析を徹底的に行ったほか、「ユーザーに直接会い

に行く」をモットーに、約200人にインタビューしたこともあります。この過去の経験・知見を活かして、自分が出会えないような新しいパートナーと一緒に、社会に価値ある体験を届けたいと考えていたところ、「i-common（アイコモン）」に出会い、今年1月からアステックさんと協働しています。

猪口 まだ半年過ぎただけですか（笑い）。橋本さんに紹介された時、当社代表や私も開発の上流工程の論理だけを言うコンサルタントはやめようと考えていました。その点、山田顧問は現場で自ら手を動かして仕事していたとお聞きしました。さらにSaaSのビジネスモデル策定まで携わった経験があるので、開発と両面で力を貸してほしいという願望がありました。

—業界では珍しくシステム開発部門を抱えています。それでもアプリ開発は簡単ではないと。

猪口 情報化が進む中、今なお東京とのタイムラグは存在します。当社で情報収集すると膨大な時間がかかることを、東京に拠点を置く山田顧問が最先端の技術や情報を届けてくれます。すぐ開発に生かせるので、地方の企業にとってはありがたいことです。

山田 2、30年前まではソフトウェアは一部の人が業務上触るもので、要件・機能さえ満たせばよい時



山田大典 (株)Michele 社長

やまだだいすけ／1985年7月23日生まれの34歳。東京大学文学部を卒業後、外資系コンサルティング会社、日米のベンチャーを経て、コンサルティング会社の代表を務めながら、大手事業会社の管理職を兼任。得意領域はデジタルトランスフォーメーション・新規事業創出・働き方改革支援など

代でした。それが現代では、誰でも日常で触るものとなり、要件・機能の充実はもちろん、伝わりやすさや使い心地も求められます。それなのに、開発は従来の手法が進められているのが現状です。モダンなものを知り、体験しないと最新のアプリ開発は難しいので、アステック様に伴走しながら、自分の経験・知見を還元できればと考えています。

—進んでいる案件の進捗よく状況は。

猪口 6月末に業務改善アプリ「現場ポケット（GEMPO）」を一部の加盟店に向けてプレリリースしました。スマホやパソコンで情報共有する塗装業専門アプリで、大きくチャット、掲示板、写真アルバム、日報の4機能があります。現在は、使用感などのデータを収集していて、本格リリースに向けて改善中です。—まさにICTの浸透が生活をより良い方向に変化させるという概念「デジタルトランスフォーメーション（DX）」を推進していますね。

猪口 人手不足が顕著な業界なので、事務的な部分を効率化し、生産性を向上することは、塗料を売る当社にもプラスに繋がります。しかし、年齢が高く、職人気質な方が多いので、手書きなどアナログ的手法が定着していますし、いまだにガラケー使用者も多いのが実状です。デジカメで撮影したデータをメールで送るのではなく、メモリーカードを郵送している例もありました。そんな業界の現状を変えるべく、塗装業界のプラットフォームを目指しています。そのためには、GEMPOを「LINE」ぐらい分かりやすく、使いやすいシステムに昇華することが重要ですね。

—山田顧問の役割は。

山田 お客様に使いやすいものか、求められるものか？をいくつかのリリース手法を使って、証明していきます。併せて、何をすべきか、何をすべきではない

か？のアドバイスもしています。現場で色々な事が起きる中で、私はあえて一歩引いて冷静な判断をするよう、心がけています。

猪口 現場を導いてくれるので安心感が違います。また、責任者としては意思決定で迷った際に、山田顧問に相談できるので、個人的なメンタルフォローにも繋がっています。来年初めには業界全体に向けて本格リリースする予定なので、これからプロモーションの相談もしようと思っていました。

山田 それは初耳です（笑い）。まずは、GEMPOが、誰にとっても使いやすく、使いたくなるものになり、業界に必要とされる存在にしたいですね。

—良いパートナーになっていますね。

猪口 実は、別のプロジェクトにも参画していたので、当社に伴走し続けてほしいですね。

山田 業界のプラットフォームになるべく挑戦する企業様を、東京からリモートで支援できるのは、とても光栄です。ぜひ、長きに渡ってご一緒させて下さい。—本日はありがとうございました。



進行 **橋本裕樹** パーソルキャリア株式会社 i-common コンサルティング部 福岡責任者

パーソルキャリア株式会社
〒810-0001
福岡市中央区天神1-1-1アクロス福岡13F
092-715-4610
https://i-common.jp/